

2023年10月26日

C/CGR-JP-2023-19

## JAPAN MOBILITY SHOW 2023

### ポッシュ、ハードウェアとソフトウェアで、 モビリティの新時代を形成

- ▶ 2023年国内第三者連結売上高は前年比20%以上拡大、過去最高売上見込み
- ▶ ビークルダイナミクスコントロール2.0がマツダロードスター商品改良車に採用
- ▶ 日本の自動車メーカーが北米でRideCare Insightサービスの実証実験開始、日本国内導入の足掛かりに

東京ーグローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーであるポッシュの日本法人、ポッシュ株式会社（東京都渋谷区、以下ポッシュ）は、JAPAN MOBILITY SHOW 2023において、“Let’s shape the new era of mobility, together.”をテーマに、持続可能なモビリティ社会を実現する様々なソリューションをブースで紹介しています。10月26日に行われた記者会見では、代表取締役社長のクラウス・メーダーおよび取締役副社長のクリスチャン・メッカーが、日本における力強い成長とソフトウェアを主軸にした取り組みについて説明しました。

#### ポッシュ、日本の自動車市場より大きく回復

2023年の日本国内におけるポッシュの第三者連結売上は前年の3,400億円（約24.6億ユーロ）と比較すると20%以上拡大し、過去最高記録を更新する見込みです。2023年の日本の自動車生産台数が前年比10%増になると予測している中、ポッシュの売上高は日本の自動車市場を上回るペースで回復する予定です。

ポッシュ株式会社代表取締役社長のクラウス・メーダーは記者会見にて、「ポッシュが日本ででの事業を拡大してきたのは、世界の自動車生産の30%を担う日本の自動車メーカーをローカルでサポートするという責務を果たすためです」と述べました。モビリティ市場が変化し、ソフトウェア・ディファインド・ビークルに向かう中、メーダーは「ポッシュは、ハードウェアのみならずソフトウェアカンパニーとして発展し続けることで、モビリティの新時代を形作っていきます」と続けました。

## 持続可能なモビリティ社会を実現するポッシュのソフトウェア

ポッシュは、持続可能なモビリティ社会の実現に向け、ハードウェアの強みに加え、ソフトウェアを主軸にした製品やサービスまで幅広く展開しています。持続可能なモビリティの具体例では、ポッシュはSiC（炭化ケイ素）チップからコンポーネント、アクティブパーツ、ドライブシステム一式に至るまで、多くのeモビリティ製品をカバーしています。その結果、ポッシュはeモビリティ事業においてグローバルで成長を続け、2026年には60億ユーロの売上達成を目指しています。

記者会見で、ポッシュ株式会社取締役副社長を務めるクリスチャン・メッカーは「ポッシュはすでに、単なるシステムサプライヤーではありません。ハードウェアの強みに加え、ソフトウェア・ディファインド・ビークルの実現に向け、ソフトウェアを主軸とする自動車開発のトレンドに対応しています」と述べました。

ソフトウェアに関する取り組みの一例として、ポッシュは次世代横滑り防止装置ESCの中核制御システムとして機能するビークル ダイナミクス コントロール 2.0を開発しました。ビークル ダイナミクス コントロール2.0は、ドライバーの操作に応じて車両の望ましい挙動を予測し、車両をコントロールするソフトウェアです。横滑りの危険性が予測された場合は、先回りして車両に介入し、制御をかけて車両の動きをサポートします。これにより日常の運転時のみならず、特に危機的な状況下の運転操作においても、ドライバーの安心感を高めます。ポッシュは日本のお客様ともビークル ダイナミクス コントロール2.0を搭載した次世代横滑り防止装置ESCの開発に取り組んできました。そして先日、ポッシュの次世代横滑り防止装置ESCがマツダ ロードスター 商品改良車に採用されました。ポッシュは、ビークル ダイナミクス コントロール2.0をもとに、サーキット走行時にドライバーのコントロール範囲を広げつつも、スピンなどの急激な不安定挙動を検知した場合のみ作動し、制御不能のリスクを下げることのできる制御モード「DSC-TRACK」をマツダと共同開発しました。

またポッシュでは、モビリティ利用者の快適性と安全性を担保するために、ソフトウェアを活用したサービスも提供しています。RideCare Insightと呼ばれるフリート管理向けのサービスでは、車両に搭載したセンサーボックスとAIを用いたクラウドベースのデータ分析で、車両の損傷や車室内の喫煙を検知し、それらの情報をリアルタイムでフリート管理者に発信します。これによりフリート管理者は、必要に応じて修理や清掃に素早く対応できるようになります。ポッシュは2023年末までに、日本のお客様が北米で展開するカーリース事業向けに、RideCare Insightの実証実験を共同で実施することになりました。ポッシュは半年以上かけて、RideCare Insightを活用したデータ収集や分析を行っていきます。

ポッシュのソフトウェア製品やサービスは、すでに日本のお客様に活用されています。これに対しメッカーは、「ポッシュはすでに日本のお客様に対して、ソフトウェアカンパニーとしてあらゆるソリューションを提供し、日本のモビリティ市場の発展に貢献しています」と語りました。

ポッシュはモビリティの新時代を形成する取り組みの一環として、2024年1月1日付で、モビリティ関連事業を再編します。これにより、カスタマイズしたテクノロジーとソリューションをワンストップで提供することで、顧客ニーズに対して、さらにより良く、より迅速に対応することが可能となります。さらに日本のお客様へ幅広いソリューションの提供、そして事業拡大に向けて、横浜市都筑区に新本社兼研究開発施設を建設しています。2024年に竣工予定の新研究開発施設の開設により、事業部や従業員間の協業や連携が促進し、国内の開発体制がさらに強化されます。

ポッシュはこれからも、モビリティにまつわる広範囲なテクノロジーとソリューションをワンストップで提供することで、日本のお客様とともにモビリティの新時代を形成していきます。

#### 報道関係対応窓口：

古市 愛子

浄土寺 真理子

電話：+81-3-5485-3393

#### 日本のポッシュ・グループ概要

日本のポッシュはポッシュ㈱、ポッシュ・レックスロス㈱、その他の関係会社から構成されます。ポッシュ㈱は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ポッシュ・レックスロスは油圧機器事業、FA モジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。さらにポッシュセキュリティシステムズ株式会社は、人命や建築物、財産などを守る製品とソリューションの提供を主要な事業としています。2022年の日本のポッシュ・グループの第三者連結売上高は約3,400億円で、従業員数は約6,250人です。

#### 世界のポッシュ・グループ概要

ポッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2022年の従業員数は約42.1万人（2022年12月31日現在）、売上高は882億ユーロ（約12.2兆円\*）を計上しています。現在、事業はモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ポッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ポッシュは、サステイナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ポッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ポッシュ・グループは、AI（人工知能）を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ポッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ポッシュはコーポレートスローガンである

「Invented for life」-人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ポッシュ・グループは、ロバート・ポッシュ GmbH とその子会社 470 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ポッシュは 2020 年第一四半期に、世界 400 超の拠点でカーボンニュートラルを達成しています。

ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 136 の拠点で約 8 万 5,500 人の従業員が研究開発に、そのうち約 4.4 万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

\*2022 年の為替平均レート、1 ユーロ = 137.9900 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)